



シルヴァーナー品種 生誕 350 年

ドイツでシルヴァーナー品種の栽培が始まってから今年で 350 周年を迎える。

今年 4 月 15 日、フランケン地方のカステル村で公式記念行事が開催されるのを皮切りに、フランケンやラインヘッセン各地で 1 年を通じ約 200 の催しが開催され、シルヴァーナーの生誕 350 年を祝う。

シルヴァーナー栽培に関する最初の文書は 1659 年に遡り、フランケン地方のカステル村に保管されている。ドイツ・マインツ市にあるドイツワイン基金本部によると、現在シルヴァーナーの作付面積は 5,000 ヘクタール(約 13,000 エーカー)を超え、ドイツの総作付面積の 5%以上を占めている。

ドイツ最大のワイン産地ラインヘッセンでは、2,468 ヘクタール(6,098 エーカー)で、ドイツ最大の面積を誇る。この地方には、“RS ラインヘッセン・シルヴァーナー“(典型的なシルヴァーナーの特徴をもつ現代の辛口ワイン)や”ラインヘッセン・セレクション“の名称を与えられた、最高のシルヴァーナーワインの選ばれた生産者グループに刺激を与えている。両者とも毎年、厳格な資格審査や特別の味覚検査を通過し、平均を上回る高品質なワインである。

フランケン地方では、作付面積の 1/5(20.7%)、1,261 ヘクタール(3,116 エーカー)でシルヴァーナーが栽培されており、各地区のシルヴァーナー栽培割合では、ドイツ最高となっている。この地区で 2 番目に多い品種であるが、土壌や気候(テロワール)が非常に合い、堅い石灰岩や泥灰土の特性がシルヴァーナーワインに十分に表れている。

ハーブ、すぐり、時には刈り取られたばかりの干し草などを想像させるほのかな香りがシルヴァーナーの特徴である。まろやかな酸味も持ち合わせている。上質に洗練され気品あるワイン作りのため、プレディカー ト・レベルの健全な完熟ぶどうのみを使用し、アスパラガスや魚との調和が素晴らしい。粘土質でのシルヴァーナーには、バロックの芳醇なまでのふくよかで豊かな性質が表れ、完熟したナシやアーティーチョークの明確な香りとともに、こってりした風味ある料理との相性が良い。

シルヴァーナーの起源に関しては、長年議論されてきた。最近の調査では野生の品種ではなく、トラミーナー種とエースターライヒッシュ・ワイズ種の交配で生まれたとされている。

フランケン地方のカステル侯爵醸造所の古文書には、シルヴァーナーは 1659 年 4 月 10 日にカステラー・シュロスベルグ内に植えられたと記述がある。



ドイツでのシルヴァーナー栽培状況 2007

ワイン生産地域	シルヴァーナー栽培面積 ha/エーカー	シルヴァーナー /ドイツ	シルヴァーナー /地域
ラインヘッセン	2,468 / 6,098	46.9%	9.4%
フランケン	1,261 / 3,116	24.0%	20.7%
ファルツ	867 / 2,142	16.5%	3.7%
ナーエ	280 / 692	5.3%	6.8%
バーデン	168 / 415	3.2%	1.1%
ヴェルテンベルク	130 / 321	2.5%	1.1%
ザーレ・ウンストルート	58 / 143	1.1%	8.7%
ヘシッシュ・ベルクシュトラッセ	19 / 47	0.4%	4.4%
ラインガウ	9 / 22	0.2%	0.3%
ミッテルライン	2 / 5	0.0%	0.4%
ザクセン	0	0.0%	0.0%
モーゼル	0	0.0%	0.0%
アール	0	0.0%	0.0%
シルヴァーナー栽培面積合計	5,261 / 13,000	5.0%	

ドイツでの葡萄栽培面積合計	102,026 / 252,106
---------------	-------------------